

チョーライ病院との第 20 回ビデオカンファレンス

10月25日、先週に引き続きチョーライ病院とのビデオカンファレンスを実施しました。国立国際医療センター事業予算で実施されている平成30年度医療技術等国際展開推進事業の一環として現在3名の消化器外科医が筑波大学附属病院で2週間の研修をしておりこの機会に消化器外科分野の共同研究も視野にカンファレンスを実施したものです。今回のテーマは膵頭十二指腸切除後の膵液漏で、筑波大学附属病院消化器外科から下村治先生、研修に来ているチョーライ病院肝胆膵外科のDr. Hoang Cong Thanhからそれぞれ発表がありました。チョーライ病院からの発表は3か月の症例をまとめたもので、膵頭十二指腸切除術が32例実施されておりHigh Volume Hospitalであることが改めて認識され、膵液漏に関する研究も質の高いものでこれまでのチョーライ病院に欠けていた臨床研究の質を向上させるための今後の協力の意義を感じさせるものでした。最後にチョーライ病院肝胆膵外科医長のDr. Doan Tien Myから膵頭十二指腸切除のロボット手術の22例の経験に関する発表があり、活発な協議が行われました。



筑波大学医学学系棟でのカンファレンス風景（画面はチョーライ病院遠隔医療室）